

ウナ法律ニ依ツテ租稅ノ減免ヲ爲ス場合ト、又一般ノ現行法ニ依ツテ爲ス場合ノ其限度ヲ御知ラセヲ願ヒタイト思ヒマス、此御答辯ヲ得マシテカラ、更ニ二三ノ事ヲ質問致シタイト思ヒマス○小川政府委員震災被害者ニ對スル租稅ノ減免猶豫等ニ對スル先例ハドウカト云フ御質問ガ第一ニアリマシタ、御承知ノ通リニ、大正十二年九月一日ノ關東震災ニ付キマシテ、特別ノ法律、是ハ初メ緊急勅令デ斯ウ云フ特典ヲ與ヘタコトガゴザイマス、ソレカラ昭和二年三月七日ニ丹後ニ震災ガアリマシタガ、其時ハ議會開會中デアリマシタカラ、特別ノ法律デ恩典ヲ與ヘルト云フコトニナリマシタ、但馬地方ニモ震災ガアリマシタガ、是ハ五月デ議會ガアリマセヌデゴザイマシタカラサウ云フ法律ヲ設ケルコトガナカッタ、今回ハ昭和五年十一月二十六日——丁度議會ニ直面シテ居リマシタカラ、斯ウ云フ丹後關東等ノ震災ニ準ジテ今日斯ウ云フ法律ヲ制定シタ方ガ宜イト云フコトニナッタノデアリマス、ソレカラ震災以外ノ震災ニ付テハドウシテ居ルカト云フ御質問デアリマシタガ、震災被害者ヲ特ニ制定スルト云フヤウナコトハ他ノ震災デハナイヤウニ記憶シテ居リマス、事ノ性質カラ言ヒマスト、隨分今

例ヲ御引キニナリマシタデセウガ、或ダラウト思ヒマスガ、其方ハ風水害ニ方ダケニ起ツタコトニナリマスガ、日本國全體ノ上カラ考ヘルト、年々歲々風水害ガアリマス、其程度モ達ヒマス、ソレニ對シテ悉ク租稅減免ニ關スル立法ヲスルト云フヤウナコトモ出來兼ネマスノデ、從來サウ云フコトガ出來テ居ナカッタト考ヘル次第デアリマス、關東ノ震災ノ事ハ實ニ天變地異ノ最モ甚ダシキモノデアリマシテ、之ニ特例ヲ設ケルト云フコトハ何人モ認メナケレバナラヌ、關東ノ震災程デハアリマセヌデシタガ、程度ハ違ヒマスガ、丹後ノ震災モ相當ニヒドカッタト思ヒマス、關東ノ震災ニマア準ジテサウ云フ特別ノ立法ヲスルト云フコトニナッタ、今度モ亦伊豆ノ震災ト云フコトハ丹後ノ震災トドレ位違フカ、ソレハ多少程度ノ違ヒトカ、何トカ云フヤウナコトモ考ヘテモ宜イ、斯ウ考ヘテ茲ニ提案シタヤウナ次第デアリマス、尙ホ其外ニ現行法ニ於テ救ハレテ居ルノトドウ違フカト云フヤウナ御質問ガアッタヤウデア

リマスガ、例ヘバ風水害ニ於キマシテモ、土地ガ非常ニ荒地ニナルト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、地租條例デ荒地ノ免租ヲスル、斯ウ云フ法律ガアルノデアリマスカラ、幾分ソレデ救ハレルコトハ救ハレルノデアリマス、唯茲ニ提案シテ居リマスヤウナ風ニ、荒地ナラ荒地ニ屬セザルモノデアッテ、荒地マデ行カヌモノデ、尙ホ氣ノ毒ダカラ、租税ノ擔稅力ガ十分ニナイト考ヘテ恩典ヲ與ヘヨウト云フヤウナコトハ普通ノ場合デハ出來兼ネルカト思フノデアリマス、多少是ハ違ヒマスガ、普通ノ場合デモ此場合ニハ現行法ニ於テモ全然救ハレナイノデハナイ、相當救ハレルコトニハナルノデアリマス、唯今度ノ震災ニ付キマシテ、ソレダケデハ氣ノ毒ダカラ、モウ少シ進メテ租稅ノ免減ヲショウト云フノガ今度茲ニ立法シタ趣意デアリマス

ハ、昨年ノ七月本部ヨリ九州一帶ノ風水害見舞——、是ハ熊本、鹿兒島、佐賀、福岡、長崎ニ亘^ツテノ廣範圍ニ亘ル大ナル風水害ノ被害ガアツタ、

〔委員長退席岸理事著席〕

ソレ等ヲ私共目撃シテ、此震災——今回提案ニナツタ伊豆地方ニ於ケル震災ノ程度ト、必ズシモ私ハ劣^ツテ居ラナイト思ヒマス、然ルニ今マデ、震災地ノ被害者ニ對スル免減ノ法律案ガ出タカラ、ソレノミニ斯ウ云フヤウナ案ヲ出スノハ如何デアルカ、是以外ノ地方ノ方面ニ於テモ、是以上ノ被害ガ澤山アルコトヲ思フノデアリマス、又はハ小サナ問題デアリマスガ、昨年八月中旬ニ於ケル私ノ縣ニ於ケル群馬縣吾妻郡、碓氷郡ノ一部、群馬郡或ハ邑樂郡ニ於ケル風水害ハ、其地域ハ一小部分ニ過ギナカッタガ、其被害程度ニ於テハ私共ハ是以上ノモノデアルト信ズルノデアリマス、私ハ其地方ヲモ親シク踏査シ、被害民罹災民等ニ就テモ色々研究シテ、其實情ノ實ニ憐レムベキモノアルヲ見タノデアリマスガ、ドウカ、斯ウ云フヤウナ案ヲ出スノニハ私ハ贊成デアリマスガ、サリトテ震災ノミニ依ラズ、他ノ災害等ニ依^ツテ、被害者ガ著シイ損害ノアル場合ニ於テハ、政府ハ之ニ準ジテ適當ナル處置ヲ執ラレルコトヲ私ハ豫メ本案審議ノ前ニ當^ツテ、政

府當局者ニ自分ノ希望ト、又今後ノ方針ヲ確立シテ貰ヒタイト云フコトダケヲ述べテ置クノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○小川政府委員 只今ノハ御質問デハナク御希望ノヤウニ拜聽致シマシタ、隨テ私ハ別ニ茲ニ御答ヲスルノデハアリマセヌガ、大體此租稅法カラ申シマスト云フト、一寸ノコトガアル度每ニ例外ヲ設ケルト云フコトデアリマスレバ、租稅法ノ目的モ達セラレ兼ネマスカラ、ドレニモ是ニモ例外規定ヲ設ケルト云フコトハ本旨デハアリマセヌ、輕微ノ震災デモ何デモ、震災ト云フ名ガアレバ、何デモ彼デモ特別ノ法律ヲ以テヤル、斯ウ云フコトニハ考ヘテ居ニ見テ、之ヲ特例ヲ設ケズニ置クコトニハ行クマイ、斯ウ考ヘタダケデアリマス、今後一寸シタ震災ガアレバ其震災ニハ必ズ特例ヲ設ケル、外ノ風水害ハドン酷イノガアッテモヤラスト云フヤウナ、サウ云フ方針ヲ確立シテ居ル譯デハアリマセヌ、實際ハ、氣ノ毒デアリマスケレドモ、ドウモ一寸シタ災害ガアレバ悉ク租稅ニ例外ヲ設ケルト云フコトハ、ヤハリ租稅法ノ建前カラスルトムヅカシイコトニナリマス、ソレガ故ニサウ云フ擔稅力ニ影響ノアルヤウナ時分ニハ、現行法ニ於キマシテ

○最上委員 只今私が希望ヲ述ベタノニ對シテ、政府委員カラ御答辯ガアッタノデアリマスガ、唯、私ハ更ニ一言致シタイノハ、私ハ先程申上ゲタ如ク、此震災ト雖モ、輕微ナ震災ニ對シテ、一々法律案テ減免シテ吳レト云フノデハナイノデアリマス、唯今マデノ慣例ト申シマスカ、兎角各地方ニアッタ事件ヲ見マスト、大都市トカ、比較的大きな近イ所ノ事件等ハ、比較的大きく報道サレル例ガアル、即チソレ等ハ新市ニ於ケル政治家、即チ代議士等ガ、盛ニ其地方ノ罹災民ノ救助ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ意味ニ於テ、政府ニ進言シ或ハ運動ヲスル爲ニ、此案デハアリマセヌガ、動モスレバサウ云フヤウナ例ガアル、現ニ今マデノ實例ニ付テ見マスルト、其地方ニ於ケル被害ノ程度ノ宣傳ヲ盛ニシタ地方ガ、却ツテ各種ノ點ニ於テ、便利ナ救濟ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトガ往々アル、

○櫛部委員長 櫛部君——
○永田委員長 横田君——
○小川政府委員 重ネテ最上君ノ御希望デアリマスカ、此租稅ノ減免猶豫ヲ調ベマシテ、其上ニ決定致シマスカ、今御述ニナリマシタヤウナ不公平針ニ付テモ、其町村名ハ舉グマセヌガ、ナコトハ斷ジテナイト考ヘテ居リマス、是ハ此法律案ノ問題デハアリマセス、是ハ此法律案ノ問題デハアリマセス、其邊ハ御安心ヲ願ヒマス

濟ノ規定ガアルノデゴザイマスカラ、ソレデヤツテ行キタイト云フ考ヲ有ツテ

居ルノデアリマス

濟品、救恤品ノ輸送ヲ開始シ、或ハ之ヲ自ラ運ンダト云フヤウナ例ガアッタ

ガ、實際行ツテ見ルト、其某町ノ如キハ、餘リ被害ガナイ、ソレヨリカ其奥ノ某村ノ如キハ、食フニ食料ガナイト

伊豆地方ノ震災ニ對シテ、政府ハ非常

下サイマシタコトハ、同地方選出ノ一議員トシテ、感謝ノ意ヲ表スル者デアリマス、尙ホ此法案ニ付キマシテハ、別ニ御尋スルコトモナイノデアリマスガ、此震災ニ關聯シタコトニ付キマシテ

ヤリタイト思ヒマスガ如何デスカ、折角皆サンオイデニナリマシタノデスカ

ラ——

○小川政府委員 櫛部君ニ御答致シマ

ス、是ハ此法律案ノ問題デハアリマセス、是ハ此法律案ノ問題デハアリマセス、

答致シマス、内務省ナリ農林省ナリ、此補助其他ニ付キマシテ相當ナル經費ノ要求ガアリマシテ、大藏省デハソレヲ今査定シテ居リマス、査定ガ終リマシタラバ、追加豫算トシテ議會ニ提案スル積リデアリマス、今査定中デアリマスカラシテ、其金額等モ此處デ御話ガ出來兼ネマス、併シ成ベク早ク査定ヲ了ヘマシテ、議會ニ提案シタ時分ニヘテ居リマス、提案致シマシタ時分ニ能ク仔細ヲ盡シテ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス

ヲシテ居リマスカラシテ、茲ニ確ニ何處々々ヲ指定スルト、今明言スル譯ニ行キマセヌガ、少クトモ方針トシテハ現ニ靜岡縣ト、神奈川縣ノ震災ニ遭フタ所デ、國稅ヲ納メテ居ル者ガ相當アルノデアリマス、サウ云フ所ヲマア定メル積リデアリマシテ、或ハ家屋ガ全壊シ半壊シテ居ル、斯ウ云フヤウナ所ヲ標準ニシテ、色々ナ町村ニ亘ツテ調ベマシテ、極ムテ公平ニ之ヲ決定シヨウト思ツテ居ル次第デアリマス、茲ニ町村ノ名ヲ擧ゲヨト言ハレ、バ、マダ其處マデハ申上ゲ兼ネマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス

ノ御精神ヲ以チマシテ、震災地域ノ御
決定アランコトヲ切望スルノデアリマ
ス、殊ニ今度ノ震災地ハ三島等ヲ中心
ト致シマシテ、伊豆ノ田方郡ハ全部デ
アリマス、而シテ又神奈川縣ノ一部、
駿東郡ノ相當ノ部分等モ無論此區域ニ
含マレルモノデアリマシテ、延イテハ
清水港ノ岸壁ノ如キモ破壊ヲサレテ居
ルノデアリマス、ソレ等ノ點モ政府ニ
於テ十分ニ御考慮アランコトヲ私ハ希
望シテ置クノデアリマス
ソレカラ更ニ御尋ヲシタイノハ、減
免ヲスル範圍、竝ニ程度、ソレニ付テ出
來得ルダケ詳細ニ政府委員ノ御説明ヲ
願ヒタインデアリマス

○小川政府委員 一寸只今私ノ申上ゲ
マシタコトニ、少シ言葉ガ足リマセヌ
デシタカラ申上ゲテ置キマス、震災地
域ヲキメルノヲ命令ニ依ルト申上ゲマ
シタガ、多分大藏省令デ出スコトニナ
ルダラウト思ヒマス、一寸ソレヲ申上
ゲテ置キマス

ソレカラ只今岸君カラ減免ノ範圍程
度ト云フコトデアリマシテ、是モ法律
文ニ書上、グマシタノハ、「昭和五年度分ト
利子税第二期分」之ヲ昭和五年度分ト
ノ第三種所得稅第三期分、同第四期分、
個人ノ營業收益稅第二期分及乙種資本
シテ減免スル積リデアリマス、ソレカ
ラ地租ハ、是ハ震災ニ因ツテ著シク利

用ヲ妨ゲラレタル土地ニ付テ免減スルハ昭和五年ノ第二期分カラ後年ニ及シ得免ジヨウト云フ積リデアリマス、唯所得稅ヤ營業收益稅ヤ乙種資本利子稅ノヤウナモノハ昭和五年分ニ限ッテ居ルノデアリマス、ソレカラソレガ決定スルマデ猶豫シテ置イテ、損害ヲ見テカラ免除スル、損害ノナイ者マデ免除スルト云フ譯ニ參リマセヌカラ、其決定スルマデ猶豫シテ置ク、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、更ニ昭和六年分ノ第三種所得稅ト、個人營業收益稅ト、乙種資本利子稅ヲドウスルカト云ヘバ、ソレニ付キマシテハ申告、申請ニ依ツテ、課稅標準ノ決定ニ關シテ特例ヲ設ケルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其申告期限ガ遅クテモ宜シト云フコトニナッテ居ル、ソレカラヲ設ケル、大體現行法ニ依リマスト、前年ノ實蹟ヲ捉ヘテ第三種所得稅ヲ課ケ、個人營業收益稅ヲ課ケル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、前年ノ實蹟ト云ツテモ、震災デ誰モ困ッテ居ラルノデアリマスカラ、擔稅力ガ非常ニアニカラシテ、豫算デ昭和六年ニハドレ位所得ガアルダラウカ、營業收益ガアルダラウカト云フコトヲ見テ、ソレヲ押ヘテ課稅スル、斯ウ云フ大體ノ方

針デ進ミタイト思フ、斯様ニ現行法ニ
非常ニ特例ヲ設ケテ行ク積リデアリマ
ス、隨テ昭和六年ニ伊豆地方ノ震災地
ノ儲ガ少イ、所得ガ少イ、ソレカラ營
業收益ガ少イ、斯ウ云フコトニナレバ
昭和六年モ自然其結果免稅セラレルコ
ズ儲ガ隨分舉レバ、是ハ已ムナク拂フ
テ戴カナケレバナラヌコトニナル、ソ
レガ大體ノ建前デアリマス

○岸委員 政府委員ノ懇切ナル御答辯
ニ依リマシテ大分了解ヲ得マシタノデ
アリマス、先程政府委員ノ御話ノ、最
上君ノ質問ニ對スル御答辯ノ中ニ、今
度ノ伊豆ノ震災ハ丹後ノ震災ニ準ジテ
總テヲ取扱ツテ立法ヲシタ、斯ウ云フ
御言明ガアリマシタガ、例ヘバ今ノ減
免稅若クハ補助等ハ、總テ丹後ノ震災
ニ準ジテ御立法ニ相成ツタコトト承知
致シマシテ差支アリマセヌデスカ

○小川政府委員 根本ノ精神、取扱フ
趣旨ト云フモノガ、丹後ノ震災ニ準ジ
タ、斯ウ御考ヘ下スツテ宜シイ、唯御
承知ノ通リニ震災ノ時ガ達ヒマス、ソ
レト又震災ノ實情ガ達フノデス、丹後
ノ方ノハ御承知ノ通リ三月ノ七日ニ震
災ガアツタ、伊豆ノ方ハ十一月二十六日
ニアツタ、ソレカラ丹後ニハ慥カ火災モ
相當ニアツタト思ヒマスガ、今度ノ伊豆
ハ火災ハ殆ドナイデス、アツテモ極ク僅

ナモノデアリマス、震災ハ火災ヲ伴フ
ノデアリマシテ、此火災ノ損害ガ頗
ル大ナルモノガアリマシテ、其損害ニ
應ジテ租稅法規ニ特例ヲ設ケルト云フ
ノデスカラ、精神ハ同ジヤウデアリマ
ス、隨テ今申上ゲマシタ例カラ申シマ
スレバ、所得稅ニ付テ言ヘバ、丹後ノ
震災ハ三月デアリマスカラ、所得稅ノ
一期、二期、三期ト云フモノヲ納メタ
後デアリマシテ、第四期分ガ免除サレ
タノデアリマス、今度ハ十一月二十六
日ニ起ツタノデスカラ、所得稅ノ一期、
二期ハ納メテ居ルノデ、後ノ殘ノ三期、
四期ヲ免ズル、斯ウ云フコトニナツテ
居リマス、所得稅ノ免除ノ方ハ多少違
フト云ツテモ、精神ハ同ジデアル、震災
ノ起ツタ後ニ擔稅力ガナイカラ之ヲ免
除スル、斯ウ云フコトニナリマス、一
ノ額トカ租稅ニ關スル法文ニハ少シ
違ガアリマシテモ、ソレハ私ハ問題デ
ナイト思ヒマス、唯大體ノ取扱ノ精神
ガサウ云フコトニナツテ居ルカラ、ソレ
ニ準ズルノデアリマス

○岸委員 只今政府委員ノ説明デ、減
免稅ノ租稅ノ點ニ付キマシテハ理解ガ
行キマシタガ、是カラ政府ガ出サント
スル補助ノ歩合、是ハヤハリ丹後ノ震
災ノ例ニ御倣ヒニナツテ御決定爲サラ
ントスルノデアリマスカ、此補助歩合
ニ付テ御伺シタイト思フノデアリマス

○小川政府委員 只今ノ岸君ノ御質問
ハ、豫算ニ關スルコト、思ヒマスガ、
豫算ハ、只今櫛部君ノ御質問ニ御答致
シマシタヤウニ、折角作製中デアリマ
ス、其結果ニ付テ今豫想シテ御話スル
コトハ出來マセス、是ハ私今日一寸御
話セナイ方ガ穩當デアラウト思ヒマス
ガ、併シ成タケ前例ヲ尊重シヨウト云
フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレヲドウ云フ
風ニスルカト云フコトヲ、決定セヌ前
ニ御答スルノハ宜シクナイト思ヒマ
ス、此御質問ニ對スル御答ハ御赦ヲ願
ヒマス

ニ於キマシテハ、小學校ノ大部分ガ震災地ニ於テ倒壊シタノデアリマス、其復舊ヲ致シマスニハ、中々町村ノ力デハ之ヲ再ビ建築シ直スコトハ困難デアリマス、其力ガナイノデアリマス、又一般町村民ノ寄付ニ俟ツテ建築スルト云フヤウナコトモ、到底今日ノ不景氣ノ場合ニ出來ナイ、是モ丹後ノ時ニ於キマシテハ、十箇年間据置ノ二十箇年ノ無利子ノ低利資金ヲ提供シタト云フコトヲ伺ツテ居リマス、此點モ恐ラク政府ハ十分ニ御考究ニナツテ居リマシテ、同様ノ御取扱ヲシテ下サルコト、只今ノ政府委員ノ言明ニ依ツテ確信シテ、此點ノ質問ヲ打切りタイト思ビマス

ノデアリマスケレドモ、免租ニナリマスル各種類ノ所得稅、營業收益稅、地租トカノ免租ノ金高ガ御分リニナリマシタラ御示ヲ願ヒマス、免租ノ地域ニ付テ豫メ御伺ヲ致シマス、各町村別ニ付テノ免租ノ種類別ノ金高、各種ノ補助ニ付キマシテ、補助ノ種目及ビ割合ハ只今御答ガ出來ナイト云フコトデアリマシタガ、奥丹後ノ震災ト差別的待遇ヲナサルノカ、ナサラナイノカト云フコトダケデ宜シウゴザイマスカラ、御答ヲ願ヒマス、清水港ノ復舊豫算ハ近ク議會ニ御提案ニナル豫定デアリマスカ、御伺致シマス

ドモ決シテ不公平ナコトハ致シマセヌ
カラシテ、其邊ハ御安心ヲ願ヒタイノ
デアリマス、損害ヲ被^フテ居ルヤウナ處
ヲ拔カスト云フヤウナコトハアリマセ
ヌ、斯ウ云フ處ノコトヲ悉ク申上ルノ
ハ少シク早過ギマスカラ、ドウゾ是ハ
御容赦ヲ願ヒマス、ソレカラ第三ニ補
助ノ種目、割合ト云フコトデアリマシ
タガ、櫛部君ニ御答申上ゲマシタヤウ
ニ、是ハ追加豫算デキマルコトデアリマ
シテ、内務省ナリ、農林省ナリカラ、
相當ニ御要求ガ出テ居リマス、ソレヲ
大藏省デ査定ヲ致シマシテ、農林省及
ビ内務省ト相談ノ上デ最後ハ決定スル
コトニナリマス、別ニ丹後ノ震災ト差別
待遇ヲスルト云フヤウナ考ハアリマセ
ヌ、併シ是ハ損害ノ程度トカト云フモ
ノガ先ヅ前提トナツテ居リマシテ、ソレ
ニ應ジテノ復舊ノ仕事ニナルト思ヒマ
スカラ、ソレノ宜シキヲ得ルヤウニ取
計ラフ積リデアリマス、又片方ニハ財
源ノ關係モヤハリアリマスカラ、豫算
ヲ決定スル時分ニ、事ハ善クッテモ財源
ノ方デ多少ソコニ取捨選擇シナケレバ
ナラヌコトモ起ルノデアリマス、唯是
ハ岸君ノ御話モアリマシタカラ、序デ
デアリマスカラ申上ゲマスガ、何時ノ
場合ニハ何割ヤツタカラ今度ノハ何割
ダト云フ、サウ云フヤウニ、數字的ニ
ハドウ云フ風ニナリマスカ、前以テ御

話ハ出來兼ネマス、唯伊豆地方ノヒド
イ處ヲ救ヒタイト云フ考ダケハ、此財
源ニ窮シテ居ル時ニモ拘ラズ持ツテ居
リマスカラ、其事ヲ一ツ御諒解ヲ願ヒ
事情デアリマスカラシテ、キマッテ居ナ
タイノデアリマス、何遍モ繰返シテ申
上ゲマスヤウデアリマスガ、サウ云フ
アデアルトハ申上ゲ兼ネルノデアリマ
スガ、唯政府當局ガ伊豆震災地ト云フ
モノニ對シテ同情ヲ持ツテ臨ンデ居ル
ト云フコトダケハ、一ツ御諒承ヲ下サ
イマシテ、其上ノ問題ハ追加豫算ノ出
マシタ折ニドウカ御話ヲ願ヒタイノデ
アリマス

省ノ御見解ガ只今御話ノアリマンタヤ
ウニ、財源ノ關係ニ依ッテハ善イコトデ
モ爲スコトガ出來ナイカモ知レナイト
云フ御話ガアリマシタ、其點デ吾々ハ
實ハ心配致スノデアリマス、地方ノ被
害者トカ、或ハ縣當局等ガ大藏省ニ陳
情ニ参リマスト、ヨク其財源ノ事ヲ御
話ニナル、又奥丹後ト同様ナ扱ヲシテ
吳レト云フコトヲ陳情致シマスト、奥
丹後ノハ少シ餘計ヤリ過ギタノダ、奥丹
後ノヤウニア、補助シタリ、低利資金
ヲヤツタリスルト、後ノ負擔ガ却テ重ク
ナツテ、現在奥丹後ガ困ッテ居ルヤウナ
風ニナツテ來ルカラ、アレト同様ニスル
コトハドウカト思フト云フコトヲ大藏
省トシテ言ハレル、ソレヲ言ハレマス
ト、陳情ニ來ル者ハ危惧ノ念ニ驅ラレル
譯デアル、財源ノ點ニ付キマシテハ、勿
論大藏省ニ御金ノナイコトハ分ッテ居
リマス、關東震災ナドハ全部公債デヤ
ラレタノデアル、僅ノ被害デアリマス
カラ、財源ヲ求メラレヤウト思ヘバ無
盡藏ニアルト思フ、要スルニ奥丹後ト
同様ニヤルト云フコトハ困ルノダト、
大藏省ノ方デ言明サレルモノデアリマ
スカラ、ソレヲ傳ヘ聞キマス者ハ皆危
惧ノ念ニ驅ラレテ居ルノデアリマス、
奥丹後ト同様ニシテヤルノダト云フコ
トヲ一言仰シヤツテ下サレバ、ソレデマ
ア吾々ノ方デハ安心スルノデアリマ

ス、サウ云フコトガ出來マシタラ、同様ニシテヤルト云フ言明ヲ願ヒタイノデアリマス

又内務省ノ方面ニ御伺ヲ致シマスガ、震災地域トシテ内務省デ御認ニナッテ居ル處ヲ御發表ガ出來マシタラ、御伺ヲ致シタインデアリマス、今ノ大藏省ノ此法案ニ依ル減免地域トハ別ニ、震災地域トシテ内務省ガ御認定ニナッテ居ルモノガアリマシタラ、ソレヲ御伺致シタイ、ソレカラ清水港ノ事ニ付キマシテハ、震災トハ別ダト云フ御話デアリマスガ、私共モ實ハ震災トハ別ニ距ツタ處デ、硝子一枚割レナイ處ニ於考ヘタイ位ニ思ツテ居リマス、十里モ混凝土ノ大キナ岸壁ガ全部破壊サレタノデアリマスカラ、震災ノ影響トシテハ全ク不思議ナンデアリマスカラ、震災ノ時ニ壞レタノデアリマスカラ、震災ノ爲ニ壞レタニ違ナイ、シテ見ルト、アレダケノ震災デ硝子一枚壞レナイノニ、築港ノ殆ド大部分ガ破壊サレタト云フコトニナッテ來ルト、尙更政府ノ方ニ責任ガアル譯デアリマス、完全ナ工事デアリマスレバサウ云フヤウナ破壊ヲ見ルコトナシニ濟ンダカモ知レナイ、内務省デハ地震ノ方角ト直角ニ堤防ガナッテ居ツタカラ、被害ガ多クナッタ云フ御説明デアリマスケレドモ、

サウ云フ事ナラバ尙更震災ノ原因ニ達テアッタランナ禍ハナカッタラウト思フ、殊ニ其工事ハ内務省デオヤリニナッテ居ル、内務省ガ工事ヲヤツテ居ツテ、其内務省ノ工事が完了ヲ未ダ告グテ居ラナイ、工事中デアリマス、其工事中ノ

モノガ破壊サレタ、縣ノ方デ受取ッタ所モアルシ、受取ラナイ所モアル、偶々受取ラナイ所ガ壞レタノナラ、内務省ノ方ノ御責任ニ歸スデセウガ、縣デ受取ッテシマツタ所ガ壞レタノハ何カ文句ガ附キハシナイカト云フヤウナコトデ、是ハ町村ノ問題デナシニ、縣ノ豫算ニ重大ナル關係ノアルコトデアリマシテ、私共地元ノ者トシテハ、内務省デ工事中ノコトデアルシ、殊ニ内務省ノ工事トシテアレダケノ震災デ、十里モ震災等ニ付テ全部調査シタモノデアリマス、一定ノ標準ニ該當スルモノハ相シテ、震災ニ原因シテ起リマシタ土木ノ災害等ニ付テ全部調査シタモノデアリマス、一定ノ標準ニ該當スルモノハ相當ナ手續ヲ致シテ居ル譯デアリマス○深澤委員 被害ノ町村別ヲ御伺シタノデアリマス、何處ト何處ハドウ云ハ要リマセヌ

ハ、サウ云フ御方針デ御審議ヲ願ヒタリマシテ、奥丹後ノ例ガ大分問題ニナッテ居リマスガ、法律案ハ大方命令ニ譲スルト、工事ガモウ少シ耐震的ニ出來テ居致シタイ事ガアリマシタラ——私ノ委員ノ資格ハ今日ダケデ消滅スルカ

スルト、工事中デアリマス、後刻又御伺ヒ致シタイ事ガアリマシタラ——私内務省ノ工事が完了ヲ未ダ告グテ居ラキマスカラ、書面デ以テ御答ヲ願ヘレバ結構デアリマス○三邊政府委員 御答致シマスガ、内務省トシマシテ震災復舊工事ノ調査ヲ是ハ町村ノ問題デナシニ、縣ノ豫算ニ重大ナル關係ノアルコトデアリマシテ、私共地元ノ者トシテハ、内務省デ工事中ノコトデアルシ、殊ニ内務省ノ工事トシテアレダケノ震災デ、十里モ震災等ニ付テ全部調査シタモノデアリマス、一定ノ標準ニ該當スルモノハ相當ナ手續ヲ致シテ居ル譯デアリマス○深澤委員 被害ノ町村別ヲ御伺シタノデアリマス、何處ト何處ハドウ云ハ要リマセヌ

ハ寧ロ全部ガ政府ノ責任——内務省ノ村別ニナッテ居リマセヌ、例ヘバ道路ノ路線別、サウ云フモノハ此處ニゴザイモ、ソレガ大體政府ノ方針ガ決定シテモアルカモ知ラスト思ヒマスガ、サウ云フ關係ナシニ、或ハ關係ガアッテモ、ソレガ大體政府ノ方針ガ決定シテモアルカモ知ラスト思ヒマス、故ニソレハ一ツ参考書トシテ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ補助金ノ問題ガ大分問題ニナッテ居リマスガ、是ハ政府ノ御説明デハ、追加豫算ニ關係ガアル、故ニ今明カリマスガ、町村別ニハナッテ居リマセヌ、テハナラスト思ヒマス、故ニソレハ一ツ参考書トシテ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ補助金ノ問題ガ大分問題ニナッテ居リマスガ、是ハ政府ノ御説明デハ、追加豫算ニ關係ガアル、故ニ今明カリマス、皆サンモ書面デ宜イト云フコト

○三邊政府委員 今手許ニアルノハ町村別ニナッテ居リマセヌ、例ヘバ道路ノ路線別、サウ云フモノハ此處ニゴザイモ、ソレガ大體政府ノ方針ガ決定シテモアルカモ知ラスト思ヒマス、故ニソレハ一ツ参考書トシテ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ補助金ノ問題ガ大分問題ニナッテ居リマスガ、是ハ政府ノ御説明デハ、追加豫算ニ關係ガアル、故ニ今明カリマスガ、町村別ニハナッテ居リマセヌ、テハナラスト思ヒマス、故ニソレハ一ツ参考書トシテ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ補助金ノ問題ガ大分問題ニナッテ居リマスガ、是ハ政府ノ御説明デハ、追加豫算ニ關係ガアル、故ニ今明カリマスガ、其方面デハ大體定ツマテ居ル、サウ

スレバ其間ニ大キナ差モナカラウト思ヒマス、國ニ金ガナイカラ補助金ガヤレヌト、斯ウ云フコトモ一ツノ御説デアルガ、併シ伊豆及ビ神奈川縣ノ一部ニ於テ震災地ト認メラレ得ル方面デ、今ドレ位ノ擔稅力ガアルカ、現在前年度マデニドレ位ノ租稅ヲ納メテ居ッタカ、是ダケノ負擔ヲシテ居ル所ナラバ此位ノ金ハ吳レテヤルノハ當リ前デハナイカ、斯ウ云フ御説モ出ルデアラウ、假ニ奥丹後ハ百萬圓ノ稅金ヲ拂テ居ッテ、其處ニ五百萬圓ノ補助金其他ヲ貰ッタ、今度ノ震災地ハ二百萬圓ノ稅金其他ヲ納メテ居ッテ、ソレガ今度ハ百萬圓シカ吳レナイ、斯ウ云フコトニナルト地方的ニハ隨分依佔最屢ノ取扱、斯ウ云フコトニナリマス、故ニ是ハ今年ノ豫算デモ何デモナイ、吾々ニ力ガアリマセヌカラ、此方面デ總テノ稅金ヲ集メテドレ位ナ擔稅力ヲ持ッテ居ルカ、是ハ消費稅ト云フヤウナモノハ分リマセヌガ、直接稅ニ關スル限り全部分ル筈デアル、ソレヲ一ツ参考書トシテ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ又此法律ヲ準用シテ縣ノ稅金モ減免スル、斯ウ云フコトニナリマス、スレバ其縣ノ減免ニ對スル御見込ハドンナ風デアルカ、是モ書類デ伺フテ置キタイ、尙ホ此根本トナル丹後震災ノ善後處分ニ對スル法律並ニ勅令等ノ此善後處置ニ對ス

ル總テノ内容、之ヲ参考書トシテ御提要デアルト思ヒマスガ、政府ノ御説明ニ依ルト丹後ノ震災ハ三月ノ七日デアル、其三月ノ七日ノ後ドレ位ノ期間デソレノ救濟ガ出來テ居ルカ、政府ハドレ位ノ勉強ヲサレテ其始末ガ出來テ居ルカ、斯ウ云フ事モ今回ノ例ニ當嵌マルト思ヒマス、同ジ百萬圓ノ金ヲ吳レテヤツタノト、ドウニカ處置シタ後ニ金ヲ持ツテ行ツタノトハ大變感ジガ違フ、故ニ處置ノ付イタ日限ナドニ付キマシテモ参考書ヲ御願シタイト思ヒマス、是ハ只今マデ申上ゲタ事ハ既ニ各位ノ質問應答ヲ伺ヒマシテ必要ト思ヒマスカラ御請求申上ゲマスガ、今度ハ私カラ一寸御伺ヒシテ見タイ

助金ノ問題ガ残ツテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、豫算關係デ此委員會デハ明カニサレヌ、斯ウ云フ政府ノ御方針ハ諒トシマスケレドモ、是ガ成ベク早ク済ムヤウニスル、斯ウ云フ事ニ付テハ十分ニ努力シテ戴カナケレバナラス、ソレ等ノ點ガ只今先ニ申上ゲタ参考書ヲ戴キタイト云フ、丹後震災ニ對スル善後處置ノ日時、此期間ト云フヤウナコトト同ジヤウニ關聯スルト思ヒマスカラ、是ダケノ参考書ヲ御願シテ置キマス

グ議會ニ掛ケラレ得ルノデアリマスカラ、多少問題ノ解決ガ早カッタト云フコトハ言ヒ得ル譯デアリマス、今度ノハ
十一月二十六日デ、議會ガモウ一ヶ月經タヌ間ニ開カレントシテ居ッタ時分
デアリマスカラ、多少ソコニ事情ガ違ヒマス、唯其處置ヲ震災後何日目ニシタカト云フコトダケノ比較デハ、一寸其處ガピッタリ當嵌マラヌコトニナルダラウト思ヒマスカラシテ、其邊ハ能ク御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、尙ホ今ノ材料ニ付テハ研究シマシタ後ニ御答ヲ致シマス

○最上委員 此字句ニ付テ一寸伺ッテ置キタイ、第一條ノ末項ニ「乙種資本利子稅第二期分」ト云フコトガ書イテアリマスガ、是ハ他ノ資本利子稅ニ付テヤラナカッタノハ、納期ノ關係カ、何カ其他ノ事情ガアルノデアリマスカ、一寸伺ッテ見タイ

○小川政府委員 御答致シマスガ、是ハ資本利子稅ガ甲種ト乙種トニ分レテ居リマシテ、甲種ハ銀行ノ預金ノ利子スカ

○最上委員 ソレハ分ッテ居ルガ、ドウシテ乙種ダケニシタカ、納期ノ關係デスカ

○小川政府委員 納期ハ十一月ニ皆ナツテ居リマス、是ハ所得稅ナド、同ジ

ヤウニナツテ居リマシテ、「個人ノ營業
収益稅第二期分及乙種資本利子稅第二
期分」ト書イテアリマスガ、此營業收
益稅モ資本利子稅モ丁度十一月ガ納期
デアリマス、ソレデ其時ニ地震ガ起ツタ
カラ免除スル……

「最上委員「甲種ハ」ト呼フ」

○小川政府委員 甲種ハ其時々々ニ濟
ム

○最上委員 他ニ理由ハアリマセヌカ
——ソレカラモウ一ツ、第二條ノ末項
ニ「地租ヲ免除スルコトヲ得」トアリマ
ス

前ノ一條ノ末項ニハ「輕減又ハ免除
スルコトヲ得」トアリマスガ、ドウ云
フ譯デ第二條ハ免除ダケデスカ

○小川政府委員 地租ノ方ハ免除ダケ
デス、利用ヲ妨ゲラレテ居ルト云フ士
地ガ定マリマスト地租ヲ全ク免除シヨ
ウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○永田委員長 ソレデハ本日ハ此程度
デ散會致シマス、明日午前十一時カラ
開會致シマス

午後零時五十分散會

昭和六年二月五日印刷

昭和六年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社